

荒川でウシエビ（ブラックタイガー）の採捕

令和5年11月23日、荒川でシジミの試験操業していた東京東部漁協所属の小島一幸さんから、珍しいエビが獲れたと連絡があり、当協会に標本が届けられました。

調べたところ、ウシエビ（写真1：全長13.9cm、体長12.0cm、甲長2.8cm、体重18.3g）であることがわかりました。歩脚・腹脚の黄色の縞模様が特徴で、東京湾以南の熱帯・亜熱帯域に分布するクルマエビ科のエビです。このウシエビの養殖物がスーパーで見かけるブラックタイガーです。

東京湾での生息は少なく、これまでの当協会の調査でも、平成6年9月14日に中央防波堤周辺の刺網調査で体長27.1cm、体重150gの個体（写真2）と、令和元年10月23日に羽田沖浅場の貝桁調査で体長9.6cm、体重9gの個体（写真3）の2個体が採捕されたのみで、今回が3例目となります。こうした希少な生物が生き続けられるよう、東京湾の環境を守りたいものです。なお、これらの標本は当協会の展示室に保存しています。



東京東部漁協 小島一幸さん撮影

写真1 今回荒川で採捕されたウシエビ
(*Penaeus monodon*)

上：採捕時（11/23）、下：測定時（12/14）



写真2 中央防波堤で採捕されたウシエビ
平成6年9月14日



写真3 羽田沖で採捕されたウシエビ
令和元年10月23日